

コロナを越えて



柄澤 俊彦

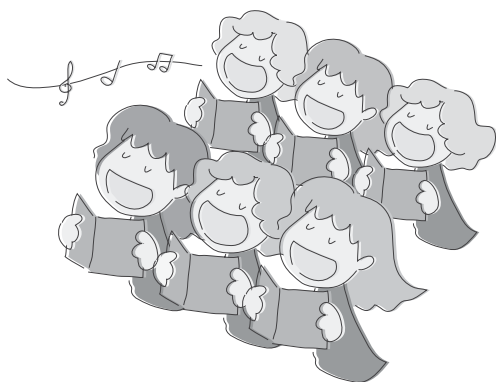
塚田常昭公民館長ご退任後、公民館長に就任いたしました柄澤俊彦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの五類への移行に伴い、公民館活動が再開され始めています。五月には春のスポーツ大会が四年ぶりに開催されました。各分館の皆さんが参加しやすいようにと、例年のソフトボールとビーチボールに、ビーチボール小学生の部とマレットゴルフの種目を新たに加えました。多くの皆さんにご参加いただき「楽しかった」「久しぶりのスポーツ大会で、元気ができました」などの声が聴かれ、好評でした。

七月に行われた納涼音楽会では、坂城音楽愛好会より八団体の

皆さんに参加していただき、開催することができました。会場の南条小学校音楽堂と参加者の皆さんの心の中に、各団体のすてきな演奏が響き渡りました。

コロナを超えて、これまで止まっていた公民館活動が動き出してきています。スポーツ大会等を四年ぶりに開催する分館も出てきました。そんな今、公民館の三つの役割「集う」「学ぶ」「結ぶ」について改めて考えながら活動することで、人と人との結びつきが深まっていくことを願っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



「またやりたいね」

新たな公民館活動へ



塚田 常昭

「またやりたいね。」

四年ぶりに開催された春のスポーツ大会の後、小学生がつぶやいた言葉です。春のスポーツ大会がとても楽しかったのでしょう。

この三年間は、新型コロナウイルス感染症のため、たくさんの公民館行事が中止になってしまいました。公民館活動は、人々が集うことから始まりますが、その集うことがなかなかできませんでした。集うことができれば、人々との結びつきが深まり、多くの楽しみが生み出されます。新型コロナウイルス感染症は、私たちに集うことの大切さを改めて実感させてくれました。

新型コロナウイルス感染症の分

類も、二類から五類に変更され、アフターコロナを考える時になりました。新しい発想を取り入れ、新たな公民館活動を展開することが求められています。「またやりたいね。」そんな言葉が数多く聞かれるような公民館活動を期待します。

結びに、坂城町の公民館活動を支えてくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。公民館活動のさらなる発展をご祈念いたします。

